

会 議 録

1 会議名

令和4年度第9回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

- (1) 「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について
- (2) 「安塚かたくりの家の廃止について」の諮問に対する答申について
- (3) 大・浦・安地域協議会委員研修会について

○報告事項（公開）

- (1) 安塚中学校の廃止について

○自主的審議事項（公開）

- (1) 住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和4年10月21日（金）午後7時から午後8時3分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所 3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、
外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一
- ・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、大島次長、小林市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任
- ・高齢者支援課：星野課長、近藤係長

8 発言の内容（要旨）

【大島次長】

- ・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

- ・挨拶

【大島次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗会長にお願いします。

条例第8条第1項の規定により、松苗会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

それでは、次第3協議事項から議事を進めていく。本来であれば、協議事項(1)「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申についての協議から始めるところであるが、本日は高齢者支援課の職員が出席しているため、(2)「安塚かたくりの家の廃止について」の諮問に対する答申についての協議から始めることとする。

本件については、前回の地域協議会において諮問が行われ、本日諮問に対する答申について、協議を行うこととしていた。答申の内容について、意見のある方はいるか。

(意見なし)

特に意見がなければ、地域住民の生活に支障はないものと認める旨の答申を行うこととしてよろしいか。

(「はい」の声多数)

附帯意見はなしでよろしいか。

(「はい」の声多数)

それでは、附帯意見はなしで、地域住民の生活に支障はないものと認める旨の答申を行う。

以上で「安塚かたくりの家の廃止について」の諮問に対する答申についての協議を終了する。ここで高齢者支援課の職員は退席となる。

(高齢者支援課職員退席)

次に協議事項(1)「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申についての協議に移る。

本件についても、前回の地域協議会において諮問が行われ、本日諮問に対する答申について、協議を行うこととしていた。答申の内容について、意見のある方はいるか。

(意見なし)

特に意見がなければ、地域住民の生活に支障はないものと認める旨の答申を行うこと

としてよろしいか。

（「はい」の声多数）

附帯意見はなしでよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、附帯意見はなしで、地域住民の生活に支障はないものと認める旨の答申を行う。

以上で「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申についての協議を終了する。

次に協議事項（3）大・浦・安地域協議会委員研修会についての協議に移る。

本件については、前回の地域協議会において、今年度どのような内容で大・浦・安合同研修を実施したらよいか、皆さんから提案いただいた。その後の協議の結果、実施内容については、正副会長に一任するという事になっていたので、本日は正副会長と事務局で検討した結果を報告する。

資料No. 1に基づき、大・浦・安地域協議会委員研修会の実施計画案を説明し、内容については2案を採用したことを報告。

正副会長に一任ということになっていたが、研修会の内容は小田副市長の講演ということでよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、研修会の内容は小田副市長の講演ということで、検討を進めていく。講演いただくテーマについて、意見のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

資料では、今後の市政運営についての講演と記載されているが、なぜ市長ではなく、副市長なのか。

【松苗正二会長】

前回の地域協議会の中でも述べさせてもらったが、これまで移動市長室や市民と市長との対話集会など、市長から直接お話を聞く機会が複数回設けられてきた。今回は自治・市民環境部を担当されている小田副市長の講演ということで計画させてもらった。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに意見はあるか。

【吉野誠一委員】

先日、市議会総務常任委員会の会議を傍聴した際、大浦安など地域自治区のブロック化を検討すべきというような極端な意見が出ていた。総合計画の土地利用構想に関する議論からそのような意見に発展していたようである。現在、安塚区地域協議会では持続可能な安塚をどうつくっていくかということについて、検討を進めており、地域にきちんと目を向けて市政を進めていってほしいと考えている。その辺りの心構えについて聞いてみたい。

【松苗正二会長】

ほかに意見はあるか。研修会の実施まではまだ時間があるので、何か聞いてみたいということが出てきたら、また意見をいただきたい。

【吉野誠一委員】

もう1点お願いしたい。ここ数年、中学校統合を含め、旧町村の行政リソースがどんどん削減されていく傾向にある。住民生活に支障は生じないのか、地域コミュニティをどうやって保っていくかという大きな問題がある。市としては、国等の方針を受けて取り組むことになると思われるが、市の考え方を聞いてみたい。

【松苗正二会長】

吉野委員から2点提案があったが、講演のテーマについては今後改めて検討することとしてよろしいか。

(「はい」の声多数)

次に開催日についてである。2月頃を念頭におきながら、まずは事務局の方で秘書課との調整をお願いしたい。

以上で大・浦・安地域協議会委員研修会についての協議を終了する。

次に次第4報告事項(1)安塚中学校の廃止についての報告に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 2、3に基づき、安塚中学校の廃止に係る答申に対する通知の内容について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

(質問なし)

質問等なければ、以上で安塚中学校の廃止についての報告を終了する。

次に次第5自主的審議事項（1）住みやすい安塚の在り方についての協議に移る。事務局に説明を求める。

【萬羽主任】

資料No. 4に基づき、8月から9月にかけて実施した各種団体等との意見交換会の記録について説明。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

（質問なし）

今回は資料の内容すべてに目を通す時間がなかったかもしれない。質問等は改めて確認する機会を設ける。

今後、この意見交換会の記録とアンケート結果を基に検討を進めていくことになる。どのように検討を進めていったらよいか。これまでの経過を踏まえると、最初に小委員会で原案をつくり、全体会に諮るという方法をとっており、そのような進め方も考えられる。意見のある方はいるか。池田裕夫委員から順番に意見を伺いたい。

【池田裕夫委員】

やはり今回も最初は小委員会で検討し、原案をつくるという方法をとった方がよいと思う。

【池田康雄委員】

私としては、今回の意見交換会やアンケートは、（仮称）地域独自の予算提案につながるようなアイデアを出すために行ったものであると思っている。先日、テレビを見ていたところ、9月26日（月）時点の情報として、28地域自治区全体で148件の提案がなされたと報道されていた。安塚区は、来年度に向けた提案を回避したということか。9月くらいまでに提案しなければいけないという話があったと思う。

【松苗正二会長】

第7回地域協議会において、（仮称）地域独自の予算の概要（案）についての説明が行われている。令和5年度予算要求にあたり、これまで地域活動支援事業の採択を受けたことがある団体に対して、総合事務所が（仮称）地域独自の予算についての制度説明を行い、令和5年度予算要求に提案するかどうか、各団体へ検討を依頼するということがあったと思う。安塚区においては、そのような流れで進んでいると思うが、事務局から何か説明事項はあるか。

【村松班長】

令和5年度予算要求に向けた（仮称）地域独自の予算の提案状況については、本日の会議終了後にお知らせさせていただく予定である。

【松苗正二会長】

承知した。

【吉野誠一委員】

地域活動支援事業を来年度以降継続しないということは元々決まっていたが、（仮称）地域独自の予算については、当初、今年度1年間をかけて制度設計を行うことになっていたと思う。安塚区地域協議会としても、自主的審議事項の審議を開始するにあたり、ビジョンをつくったうえで必要となる施策を1年間かけて検討していこうという考え方であった。しかし、地域活動支援事業の延長線上で急に（仮称）地域独自の予算が前倒しで導入されるような形になり、おかしなことになってしまったと感じている。

【松苗正二会長】

安塚区地域協議会として、令和6年度予算要求に向けて（仮称）地域独自の予算の提案ができるかどうかは分からないが、現在行っている自主的審議事項の取組がそこにつながっていくように検討を進めていきたいと思う。

また、令和5年度予算要求に向けた（仮称）地域独自の予算の提案状況については、後ほど事務局から説明がなされるとのことである。

【小松光代委員】

アンケート結果や意見交換会でお聞きした内容をどのように結び付けて形にしていくか、まずは小委員会で検討した方がよいと思う。

【新保良一委員】

意見交換会で各団体等の皆さんから意見をお聞きしたが、これからこうしたらという内容よりも、今の実情を語ってもらったという面が強かったように感じる。それを参考にしながらどのようにまとめあげていくか、まずは小委員会で検討した方がよいと思う。

【中村真二委員】

当初、自主的審議事項の取組を開始した時点では、地域協議会が中心となり、地域自治区単位で考えをまとめて、予算案や計画案をつくっていくという方向で捉えていた。しかし、その後、実際に審議を進める中で現在の地域活動支援事業と同様に各団体が市へ提案するという形に変わり、必ずしも地域協議会が中心となって地域自治区単位の考えをまとめるわけではなくなったと思う。何を目指したらよいのか分からず、話が振出

しに戻ってしまったような感覚がある。正直なところ、今後どのように進めたらよいか迷っている。ただ、せっかく意見交換会で多くの意見を出していただいているので、何かしらまとめたものを作らなければいけないと思っている。たたき台となるものを小委員会で作ってもらった方がよい。

【松苗正二会長】

途中で方向性が変わってきたということは、確かであると思う。令和5年度予算要求にあたり、これまで地域活動支援事業の採択を受けたことがある団体に対して、総合事務所が呼びかけをしたということについては、限られた時間の中で一つでも多く提案してもらうためにそのような形をとったのだと思う。次年度以降は地域の団体や地域協議会、総合事務所が連携して提案することも期待されているというような内容が資料に記載されていたと思う。地域協議会会長会議の際、市長からは地域を活性化するために一生懸命頑張ってもらいたいというお話があった。

【外立正剛委員】

配付されている意見交換会の記録の中から共通するテーマを導き出して、予算につなげていくことが重要であり、まずは小委員会で検討した方がよい。意見交換会で皆さんからいろいろな意見をいただいたが、ある程度テーマを絞って進めていかなければいけない。全体では言いづらい部分もあると思うので、6人ずつ2グループに分かれて話し合うという方法もある。

【秦克博委員】

意見交換会の記録を読ませてもらったが、まずは小委員会でテーマや課題を絞りながら進めていった方がよいと思う。

【松野修委員】

私も同様の意見である。意見交換会で挙げられた意見だけではなく、アンケートの中にも参考になる意見がたくさんあると思うので、それらを取り入れながら進めていくとよい。全員ですぐにまとまらない可能性もあるので、まずは小委員会で検討していくことから始めてはいかがか。

【山岸重正委員】

私も松野委員の意見と同様である。

【吉野誠一委員】

第1弾でアンケートをとり、第2弾で意見交換会を実施したが、政策需要がどこにあるのかを掴むことが重要である。政策需要がどこにあつて、それを将来の安塚区にどの

ように結び付けていくかという骨格作りについては、まずは小委員会でたたき台をつくった方が進めやすいと思う。

【松苗正二会長】

皆さんの意見を伺ったところ、まずは小委員会で検討した方がよいという意見が大半であった。小委員会で検討するところから始めるということによろしいか。

（「はい」の声多数）

小委員会の開催日について、何か意見等あるか。

【池田裕夫委員】

2週間後くらいでいかがか。

【松苗正二会長】

池田裕夫委員から2週間後くらいという意見があったが、皆さんのご都合はいかがか。

【吉野誠一委員】

資料を読み込むだけでもなかなか大変である。

【池田裕夫委員】

基本的には一度意見交換会の場でお聞きした内容である。

【吉野誠一委員】

意見交換会では、今困っていることについての意見も多かったが、それらを自分の頭の中で整理して将来の安塚にどのように結び付けていくか、課題と政策需要を突き合せていかないと立体的なものにならないと思う。

【松苗正二会長】

資料をじっくり読み込んでからという考えもあると思うが、小委員会は1回だけとも限らない。数回にわけて、皆さんの意見をまとめていくということも考えられる。10月31日（月）から11月4日（金）までの間で皆さんのご都合はいかがか。

【吉野誠一委員】

まずは小委員会のメンバーを決めて、小委員会のメンバーの中で次回の地域協議会の開催日から逆算しながら小委員会の開催回数を考えてはいかないと厳しいと思う。

【松苗正二会長】

吉野委員が言われたとおりであると思うが、まずは一度小委員会で集まってから検討することとしたい。

先ほど外立委員から、6人ずつ2グループに分かれて話し合ってもよいとの意見があった。そのように全員参加で検討する方法をとってもよい。一方で吉野委員からは、メ

ンバーを固定した方がよいとの意見があった。個人的には皆さんに参加してもらった方がよいと思っている。どちらがよろしいか。

【吉野誠一委員】

全員参加にした場合、2グループから出てきた案を競い合ってどちらにするか決めるということか。

【松苗正二会長】

そのようになる場合もあり得る。

【吉野誠一委員】

そのようにならない場合もあるのか。

【松苗正二会長】

そのときの状況等にもよると思う。

【池田裕夫委員】

案としてまとめるまでには時間がかかると思う。

【松苗正二会長】

6人ずつ2グループに分かれて検討するという方法で進めてよろしいか。

(「はい」の声多数)

会議の際の座席で私側に座っている6名と石田副会長側に座っている6名に分かれるということによろしいか。

【吉野誠一委員】

それで構わない。

【松苗正二会長】

次回の小委員会については、そのように2グループに分かれて検討を進めていくこととする。日程についてはいかがか。

【吉野誠一委員】

2グループに分かれることになったが、1グループはビジョンをつくるときの基本的な考え方というところから検討を始め、もう1グループはもう少し具体的な内容から検討を始めるといって進めないと難しい気がする。

【池田裕夫委員】

まだそこまで話は進まないと思う。

【吉野誠一委員】

次回の地域協議会に間に合わなくなる。

【池田裕夫委員】

まず1回目はまとめ方を検討する必要があると思う。

【新保良一委員】

アンケート結果や意見交換会の記録を基に重要だと考えられるものを拾い上げて、それについて検討していくことになるのではないかと。

【松苗正二会長】

意見交換会で挙げられた意見については、漠然とした内容のものも多いと思う。これから地域協議会で検討を重ねながら、安塚区が抱える課題や課題を改善するためにどのような事業が必要かなどについて、考えをまとめていくことになる。

1回目の小委員会については、意見交換会の記録を見て感じたことを皆さんで話し合うところから始めていった方がよいと思う。すぐに事業の内容などを考えるのはなかなか難しいと感じている。

【新保良一委員】

難しいと思う。

【吉野誠一委員】

安塚区が抱える課題については、アンケートによってある程度明確化していると思う。その後、意見交換会でテーマごとに意見を聞いているので、それを課題とどうやって結び付けていくかを考えるしかない。

【新保良一委員】

意見交換会の記録を見ると、同じような内容の意見もたくさんある。それを集約して進めていかないとうまくいかないのではないかと。

【松苗正二会長】

意見交換会では、テーマ自体が漠然としているという意見もあった。テーマの設定にあたり、細かい内容まで踏み込まずにわりと大きな目線で設定しているため、簡単に意見をまとめられない部分もあるかもしれない。

【吉野誠一委員】

とりあえず一度小委員会で話し合ってみよう。

【松苗正二会長】

開催日はいつがよろしいか。

【中村真二委員】

10月31日（月）と11月3日（木）は都合が悪い。

【松野修委員】

11月4日（金）はいかがか。

【松苗正二会長】

松野委員から意見があったが、11月4日（金）でよろしいか。

（「はい」の声多数）

時間についてはいかがか。

【池田裕夫委員】

午後7時開始でよいと思う。

【松苗正二会長】

池田裕夫委員から意見があったが、午後7時開始でよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、11月4日（金）午後7時から小委員会を開催する。

【萬羽主任】

2グループとも同じ日時に集まるということによろしいか。

【松苗正二会長】

それで構わない。

【萬羽主任】

会場は別々の方がよろしいか。

【松苗正二会長】

可能であれば別々にしてもらいたい。

【萬羽主任】

承知した。

【松苗正二会長】

会場の手配については、事務局に願います。

昨年12月から現在に至るまで、住みやすい安塚の在り方についてというテーマで皆さんから検討を進めてもらっている。審議開始当初、第5期委員の任期内に審議が終わらなくても仕方がないという意見もあったと思う。しかし、令和6年4月をもって第5期委員の任期は満了を迎えることになるので、可能な限りそれまでに審議を完了できるようにしたいと考えている。時間的に厳しい部分もあると思うが、全体会と小委員会ともに皆さんから協力いただきながら進めていきたい。

【外立正剛委員】

今後、予算をつけてもらうというところまで進められるイメージが湧かない。意見交換会で挙げられた意見等を参考にしながら、安塚区が抱える課題を見つけて進めていくことになると思うが、どのようにまとめていくのかよく分からない。皆さんはいかがか。

【松苗正二会長】

意見のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

先日、第7次総合計画（案）に関する説明会に出席してきた。出席者からは、上越らしいまちとはどういうことか、具体的なものが出ていない、といった厳しい意見も出ていた。その様子を見ていて、一定の目標を定めないといけないと感じた。目標に向かっていくために今何をしなければいけないのかという視点で考える必要があると思う。私としては、アンケートである程度課題を把握し、意見交換会でテーマごとに意見を聞いているので、それらを政策需要にどのように結び付けていくかというイメージしか持っていない。

【池田裕夫委員】

皆さんほぼ同じだと思う。小委員会で話し合っただけで揉んでいけば、何か一定の方向性が出てくると思っている。私はあまり心配していない。色々なアイデアが出てくると思う。

【外立正剛委員】

吉野委員が言われた第7次総合計画（案）に関する説明会の資料を読ませてもらっているが、上越らしさなど、文字にすると簡単なように感じる。しかし、実際にどういふふうに進めていくか考えると難しい。小委員会で話し合うことによって、色々浮かんでくるかもしれないが。

【小松光代委員】

とにかくやってみないと分からない。今はまだどのように手を付けたらよいか分からないが、話し合っていく中で見えてくるものもある。

【松苗正二会長】

意見交換会の記録を見ると、リバーサイドロードの桜が素晴らしいとか、高校生からは喫茶店やお店をつかってほしいというような意見があった。今後、それらを実現するために何が必要か検討していくことになる。例えば、柳葉ひまわりについて、今年民放のテレビ局2社に紹介してもらったおかげで、かつてないほどの人が来てくれたとNP〇雪のふるさと安塚の職員が言っていた。長岡市の国営越後丘陵公園を参考にして、季

節ごとに異なる種類の花を楽しむことできるようなプロジェクトを立ち上げてほしいかもしれない。実現できるようなアイデアを皆さんで考えていきたい。この場で思い浮かばなくても全く問題ない。これから皆さんで検討を重ねていく。

以上で本日の自主的審議事項についての協議を終了する。

次に次回の地域協議会の開催日を確認する。通常であれば、次回は11月22日（火）開催となるが、皆さんのご都合はいかがか。11月22日（火）開催でよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、次回は11月22日（火）午後7時から開催する。12月以降は午後6時開始となる予定である。

以上で議事は終了となるが、連絡事項はあるか。

（連絡事項なし）

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。